
「**脊椎関節炎・自己炎症性症候群の治療反応性を規定する分子マーカーの探索と難治例の分子動態の解明**」に関するお知らせ

このたび、当院で研究を行った患者さんの試料・情報を用いた以下の研究を実施いたします。本研究は、総合医療センター研究倫理委員会の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、残余検体やカルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

当院研究倫理委員会・審査試験番号；

494：成人発症ステイル病に対するトシリズマブ単独療法の有用性に関する研究；

2012年3月29日から2021年3月31日の期間に埼玉医科大学総合医療センターを受診し、成人発症ステイル病(現成人スチル病)と診断され、研究に参加された患者さんを対象としております。

916：関節リウマチに対するトシリズマブ単独療法下における病態メカニズムの解明；

2014年2月7日から2021年3月31日の期間に埼玉医科大学総合医療センターを受診し、関節リウマチと診断され、研究に参加された患者さんを対象としております。

1109：トシリズマブを使用していない自己免疫疾患患者におけるリンパ球亜分画、血清サイトカイン、蛋白発現プロファイルの解析；

2014年11月27日から2024年3月31日の期間に健常人として、研究に参加された方を対象としております。

2445：自己免疫疾患 survivor (サバイバー)における自己寛容の維持機構や炎症収束・修復再生機構の解明；

2020年12月03日から、本研究の病院長の許可日までの期間に健常人として、研究に参加された方を対象としております。

総 2022-094：筋炎関連疾患における病態解明並びに自己寛容の維持機構や炎症収束・修復再生機構の解明；

2023年01月12日から、本研究の病院長の許可日までの期間に健常人として、研究に参加された方を対象としております。

総 2024-057：自己免疫疾患におけるヒト組織制御性T細胞誘導方法の確立とその分子基盤の解明；
2024年09月05日から、本研究の病院長の許可日までの期間に健常人として、研究に参加された方を対象としております。

2. 研究の目的

本研究は、自己免疫性疾患の治療反応性を規定する分子マーカーの探索と難治例の分子動態の解明を目的としています。

3. 研究期間

病院長の許可後～2027年12月31日

4. 利用または提供の開始予定日

2026年01月10日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

※この研究で得られた患者さんの試料・情報は、埼玉医科大学総合医療センターにおいて、研究責任者である酒井亮太が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

関節リウマチ、成人スチル病と診断され、研究に参加された患者さんに検査を実施した際に生じた残余検体、検査データおよび診療記録等を用います。また、過去当科での研究に参加された健康人の方に検査を実施した際に生じた残余検体を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

- ・埼玉医科大学総合医療センター リウマチ・膠原病内科 酒井亮太（研究代表者）
- ・あずまりウマチクリニック 東 孝典

4. 試料・情報の管理責任者

- ・埼玉医科大学総合医療センター 病院長 別宮好文

5. 試料・情報の提供方法等について

<試料>個人が特定できないように加工した検体を追跡可能な輸送方法により、解析業務を外注している電気化学発光イムノアッセイ受託解析サービスおよび株式会社 Rhelixa（レリクサ）へ送付します。

<情報>該当しません。

お問い合わせについて

ご自身の検体やカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

連絡先：〒350-8550 埼玉県川越市鴨田 1981 番地

埼玉医科大学総合医療センター リウマチ・膠原病内科 講師 酒井 亮太

TEL：研究事務局 049-228-3574（直通）（平日 10 時～17 時）

メールアドレス：r_sakai “AT” saitama-med.ac.jp（“AT” を@に置き換えてください）

○研究課題名：脊椎関節炎・自己炎症性症候群の治療反応性を規定する分子マーカーの探索と難治例の分子動態の解明

○研究代表者：埼玉医科大学総合医療センター リウマチ・膠原病内科 酒井亮太